

が死滅。一
ど停電しな
り、倒れな
もふたが開
煙では菌系が
という。こ
0万本あり、
とにした。
増地を詰めた
けて培養した
刺激する菌
を形成させ、
反では培養期
一方、5月に
日培養が進ん
場（上水内郡

成分のグルタミン酸やアラニ
ンが通常の1・5倍程度に高
まるといった結果が出た。
現在は2回目の試験として
210〜240日培養した菌
を生き残ったものなので、で
きれば食べてもらいたい」と
期待。販売すると決めた場合
引き合いのある店に供給した
いと考えている。



音声

まきストーブなど、自作所（千曲市）は、自
ザーに使い心地な
ーする音声番組を
「この話、もっと聞
FM軽井沢（北佐久
放送し、インターネ
信サービス「ポッド
配信。対外的な広報
なく、工場勤務など
会が少ない自社社員
オン向上にもつな

FMでは木曜午
の5分番組で、1
ーを4週に分けて
め、これまでにま
炭を作る「無煙炭
製品のユーザーを
「環境」をテー
ー取材をし、製品
を聞く他、その人

それぞれ上昇し
1人平均
は前年同月
・4時間
同月を下回
・7%、情
%、卸売業
%、運輸業
%それぞれ
のみが5%
労働者数
・7%増の
23カ月連続
った。
「決まっ
が前年同月
つて支給する給与」は、前年
同月比0・5%減の25万78
07円となり、前年同月を28

抗菌力保持 アルミ処理技術開発

アルミニウム表面処理の春日井アルマイト工業（岡谷市）は、殺菌力があるヨウ素の被膜を表面にまもらせてアルミ製品の抗菌性を高める処理技術を開発した。3月に処理技術の特許を取得。新型コロナウイルスの感染拡大で高まった抗菌ニーズを捉え、医療機器や日用品、住宅関連などの細菌やウイルス対策が有効な製品での受注拡大を目指す。

れる天然成分で、殺菌や消毒の作用がある。同社によると、日り、効果は半永久的に続くことみ本産業規格（JIS）に基づいている。

抗菌性試験で、黄色ブドウ球菌、スプーンや皿などの日用品、や大腸菌を塗布してから6時間多の人の手が触れるドアノブや手すり、ペット用品、キャンプ用

大腸菌など塗布▶▶6時間後も増殖せず 表面加工の特許取得



同社の2023年9月期の売上高は3億8千万円。事業の柱の一つとしているカメラ部門がスマートフォン普及などを受けて縮小しており、新規事業を探索中で3年ほどかけて新たな処理技術を開発した。

5年後に同事業の売上高を1億円にする目標。横松和美社長は「事業を拡大させ、景気に左右されない強い経営をしていきたい」としている。

食器やドアノブ…用途多彩

ヨウ素を含む電解液で抗菌処理したアルミニウム製品

「設備の入れ替えや交換、更新」が前年度比0・3%増の61・0%。「DX（デジタル技術による変革）」が9・2%増の30・0%、「省力化・合理化」が3・3%増の29・5%と続いた。一方、「既存設備の維持・補修」は6・0%減の29・0%、「国内向け増産・販売力増強」は3・4



栽培培養瓶に及んだヨウ素は海藻などに多く含ま

水との出会い「提供

れて行かざるを得なかったことも。再婚して子どもは3人に増え、ますます多忙になった。女性の営業職は珍しく、取引先から「男はいないのか」と言われることもあったと振り返る。

「設備投資を予定」

県内4.2ポイント増70.7%

来高	246	359
社、復星	中国企	【北京共